

世界若者ウチナンチュ大会



第1回世界若者ウチナンチュ大会のプログラムを発表する世界若者ウチナンチュ連合のメンバー=25日、県庁記者会見室

8カ国150人参加

ブラジル 来月開催 国際会議、祭りで交流

世界若者ウチナンチュ連合会(玉元三奈美沖縄本部代表は25日、県庁で記者会見し、7月25日〜29日にブラジルのサンパウロ市で開催する「第1回世界若者ウチナンチュ大会」のプログラムを発表した。

同大会には開催国のブラジルを中心にアルゼンチン、ペルー、ボリビア、アメリカ、ドイツ、中国、日本・沖縄の8カ国からウチナンチュ約150人が参加する。

大会は1日目に開会式や歓迎夕食会を開催、2日目は各国からの参加者が41出身市町村に分かれて交流するプログラムや、移民の歴史を学ぶ勉強会を行う。そのほか県系人が経営する工場や企業の訪問、ネットワークの持続的活用などについて国際会議を行う。またブラジル県人会主催の郷土祭りに連合会メンバーで

つくるダンスグループ「琉球ストンプ」が参加し、公演する。

大会の実行委員長を務める玉元世界若者ウチナンチュ連合会沖縄本部代表(24)は大会の資金調達での苦勞を振り返り「諦めようと思つた時もあった」と話した。しかし「沖縄の人に足りないウチナンチュとしてのハートを移民の皆さんは持っている。これを共有しなければとの思いが原動力になった」と語った。

宮城祥広報道部長(25)はブラジルから沖縄は遠いため、昨年の第5回世界のウチナンチュ大会に参加できなかった人もいたとし「今度はこちらが行く番だ」と語った。「この大会を成功させることが次につながる。各国でつくりあげる第6回ウチナンチュ大会を目指して頑張っていきたい」と意気込んだ。

大会に関する問い合わせは、世界若者ウチナンチュ連合会 ☎098(863)2673、ホームページ <http://yuua.org/>

(2012年6月26日 28面)

☆玉元三奈実行委員長の言葉から、大会を開催する目的は何か、挙げてみよう。

☆大会ではどのようなプログラムが組まれているか言ってみよう。

年 組 名前